

薄膜作製技術を生体材料に適用した人工骨・人工歯根

キーワード 人工骨・人工歯根、ハイドロキシアパタイト

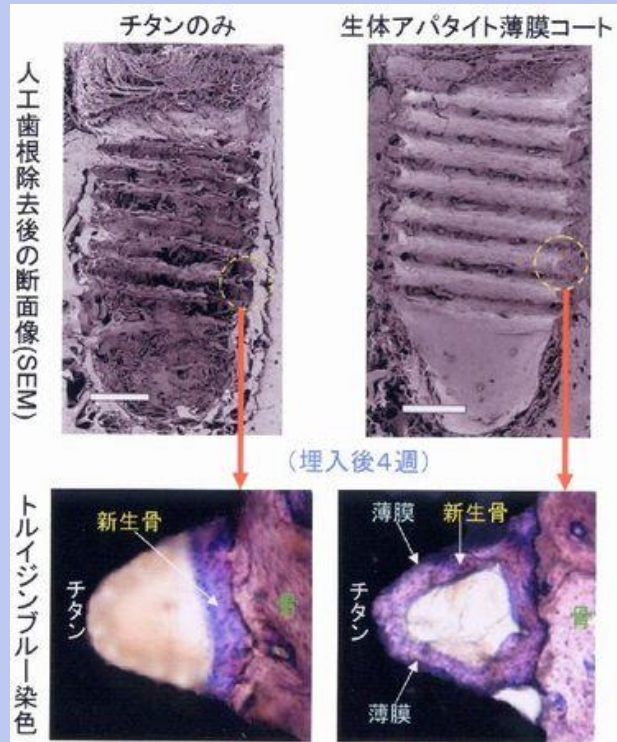
研究内容の概要: レーザーアブレーション法を用いた、ハイドロキシアパタイト (HAp) (歯・骨の主成分) の医療用インプラント表面コーティングに成功しました。

研究内容



レーザーアブレーションによる
HApの薄膜化

化学合成した HAp
生体から取り出した HAp



特長／効果

- インプラント表面に1 μm以下の膜厚のハイドロキシアパタイト (HAp) 薄膜をコーティングし、生体親和性を向上
- レーザーを用いた作製法により優れた結晶性の HAp 薄膜を均一、かつ強固にコーティングすることに成功
- 生体内と同じ化学組成の生体 HAp により、生体内の初期固定時間を短縮することが可能

利用／用途

- 人工骨・人工歯根などの医療用インプラント

知的財産権等情報

特許出願	特開 2003-253424
論文等	21 編

生物理工学部
電子システム情報工学科

本津 茂樹

連絡先: 近畿大学 リエゾンセンター (KLC)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

E-mail: klc@kindai.ac.jp

TEL: 06-4307-3099 FAX: 06-6721-2356

URL: <http://www.kindai.ac.jp/liaison>